

岡崎市図書館交流プラザ自主事業

# 林隆三朗読会

## 宮沢賢治童話の世界

朗読公演、トーク、ピアノの弾き語り……。  
バレンタインデーの素敵な贈り物。



2010年2月14日

開演 17:00 開場 16:30

会場 岡崎市図書館交流プラザ Libra ホール

朗読と弾き語り 林隆三

入場料 全席自由 3,000円 ※未就学児の入場は  
ご遠慮ください

チケット発売開始/2009年11月21日(土)より

[チケット取扱い場所]

岡崎市図書館交流プラザ 2階総合案内/TEL (0564) 23-3100

電子チケットぴあ/TEL (0570) 02-9999 【Pコード:398-748】

※びあスポット、サークルK、ファミリーマート、サンクス各店でもご購入いただけます



けんじゅう こうえんりん  
「度十公園林」

ししおど  
「鹿踊りのはじまり」

# 林隆三朗読会

## 宮沢賢治童話の世界



俳優・林隆三のライフワークである宮沢賢治童話の朗読公演が、岡崎市で初めて開催されます。幼少年期を東北で過ごし、宮沢賢治を敬愛する林隆三の花巻弁を使った作品の朗読によって、賢治童話の魅力と朗読の楽しさを再発見することができるでしょう。朗読とあわせて、愉快的トークとピアノの弾き語りで、素敵なひとときをお楽しみください。

### 朗読内容紹介

けんじゅう こうえんりん

#### 「度十公園林」

ししおど

#### 「鹿踊りのはじまり」

#### 『度十公園林』

いつも笑ってばかりいて知恵が足りない周田から馬鹿にされている少年・度十が、家族の優しさに見守られながら、家の裏に杉林をつくり、隣の小学校に通う子どもたちの遊び場になりました。度十が病気で亡くなって二十年以上たって、町はすっかり変わりましたが、度十の林はそのままです。その時になって、度十の林が育んだものの大切さを、たくさんの人たちが気づいたのでした。「本当の知恵とは何か」を教えてくれる物語です。

#### 『鹿踊りのはじまり』

山奥へ湯治に訪れた農民が、途中のすすき野原で一服しました。食べ残した団子を、山の鹿たちに残してやりました。団子を置いた場所に手ぬぐいを忘れたことに気づいた男

が元の場所に戻ると、そこにたくさんの鹿が集まって、団子のそばに落ちている手ぬぐいの正体について、話し合っているのを聞くことになります。人と自然や動物が、現在より身近だった時代の、ユーモラスなお話です。

### 林隆三 (はやし・りゅうぞう) プロフィール

1966年に俳優座養成所を第15期生として卒業、翌年NHKミュージカル『ある愛の奇跡の物語』でデビューする。その後、テレビでは、NHK『天下御免』(1971-72)、『国盗り物語』(1973)、『夢千代日記』(1981)、『たけしくん、ハイ!』(1985)、『信長』(1992)、『葵 徳川三代』(2000)、『利家とまつ』(2002)、TBS『誘惑』(1990)、『Around40』(2008)、フジテレビ『ドク』(1996)、『チーム・バチスタの栄光』(2008)などに出演。映画では、『妹』(1974)、『地獄』(1979)、『早春物語』(1985)、『三たびの海峡』(1995)、『時雨の記』(1998)、『草の乱』(2004)などに出演。舞台では、『どん底』(1985)、『ファンタスティックス』(1998)、『美しきものの伝説』(1999)、『三文オペラ』(2000)、『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(2007)などに出演。1977年近代映画協会「竹山ひとり旅」で第1回日本アカデミー賞主演男優賞、1984年にはフジテレビ『真夜中の匂い』でテレビ大賞・個人演技賞を受賞した。朗読、CD文庫、ドキュメンタリー番組のナレーション、全国で宮沢賢治童話の朗読公演やコンサート・ツアーなども行っている。



岡崎市図書館交流プラザ

URL <http://www.libra.okazaki.aichi.jp/>

主催◎岡崎市・岡崎市教育委員会

お問い合わせ◎岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

